

おおみや教会通信 5月号 2021.5.9

ゴールデンウィークも終わりました。

5月はマリア様の月ですね。昨年4月末、教皇フランシスコによる『2020年5月にあたってすべての信者に送る手紙』がカトリック中央協議会のホームページに掲載されましたが、皆様はご覧になりましたか？ 私は最近になって気づきました。

1年が経過してもなお、新型コロナウイルス感染症の拡大に悩まされる毎日ですので、ここに紹介します。

改めて教皇様のお言葉を心に留め、共に祈ることができたらと思います。



教皇フランシスコ、2020年5月にあたってすべての信者に送る手紙

マリアへの祈り一、二

以下のURLをご参照ください。

<https://www.cbcj.catholic.jp/2020/04/30/20707/>

(カトリック中央協議会ホームページ)



<信徒委員会からのお知らせ>

・今後のミサについて

新型コロナウイルス感染症対策として引き続き現在の 3 グループによるローテーションを継続します。

月	日	曜日		開始時間	グループ	備考
5月	9日	(日)	復活節第6主日	午前10:00～	B	
	16日	(日)	主の昇天	午前10:00～	C	
	23日	(日)	聖霊降臨	午前10:00～	A	
	30日	(日)	三位一体	午前10:00～	B	集会祭儀(斉藤助祭)
6月	6日	(日)	キリストの聖体	午前10:00～	C	
	13日	(日)	年間第11主日	午前10:00～	A	
	20日	(日)	年間第12主日	午前10:00～	B	
	27日	(日)	年間第13主日	午前10:00～	C	
7月	4日	(日)	年間第14主日	午前10:00～	A	
	11日	(日)	年間第15主日	午前10:00～	B	
	18日	(日)	年間第16主日	午前10:00～	C	
	25日	(日)	年間第17主日	午前10:00～	A	
8月	1日	(日)	年間第18主日	午前10:00～	B	
	8日	(日)	年間第19主日	午前10:00～	C	
	15日	(日)	聖母の被昇天	午前10:00～	A	

*ご自分がどのグループに属するか、今一度ご確認ください。

Aグループ	大宮区・西区・中央区・桜区
Bグループ	見沼区・北区
Cグループ	岩槻区・伊奈・原市・白岡・蓮田・久喜

・主聖堂受付時間について

毎週日曜日と木曜日 午前10時～午後2時まで受付係がおります。

・営繕部より

いつも除草作業にご協力くださり、ありがとうございます。今年は教会一斉に除草作業日を設定することはありません。時間に余裕のある方は、ミサ前後に短時間でも各自除草をお願いします。鎌・軍手・ビニール袋等は小聖堂裏(左奥)の物置に用意してあるので、ご利用ください。刈った草はビニール袋に入れて、司祭館駐車場入り口付近に置いてくだされば営繕部が処分します。

・成人養成部より

インターネットの zoom（ズーム）を用いての勉強会を計画中です。詳細が決まり次第お知らせします。

・ガレットの予約販売について

注文の締め切り：6/20、商品お渡し：6/27 以降です。受付カウンターに申し込み用紙を置きますので、代金を添えて各グループのご担当者にお渡しください。



神の計らいは限りなく

現在、私は、東京にある水元特別支援学校で働いています。この学校は、さいたま教区司祭の塩田泉神父様が、大学を卒業して、4年間ほど音楽の先生として働いた学校でもあります。塩田神父様といえば、作曲。本校の校歌もちろん、塩田神父様が作曲されました。なんという因縁でしょう。私は大学で特別支援教育を学んではいましたが、知的障害のある学校で勤務するのは初めてです。ろう学校での教育が長かったので、まさか知的障害の学校に務めることになるとは思っていませんでした。そして、その学校の作曲者が塩田神父様とは、神様の計画は私たちには計り知れないです。本校は昨年9月に新校舎ができました。創立40周年と新校舎落成を機に、新しい校歌を制定しようと前校長は考えていたようですが、そこへ私が校長として着任したので、塩田神父様が作られた校歌は残ることになりました。

さて、聖書の中にはよく障害のある人の話がでてきます。盲、ろう、肢体不自由の方（現在の言い方にしてあるので、聖書の表記とは違います）。イエス様は、障害のある人や社会で抑圧された方に寄り添う方です。ヨハネ福音書の第9章2-3節で、弟子たちは障害があるのは、だれかが罪を犯したためかとイエス様に問います。イエス様は、『本人が罪を犯したのではなく、また、その両親が犯したのでもない。ただ神のみわざが、彼の上に現れるためである』とおっしゃっています。私が大学を卒業して、当時の養護学校に勤め始めてから、祖母に会った際に「馬鹿がうつるから、早くやめなさい」と言われました。明治生まれの祖母には、障害者は近寄るべき存在ではないと思っていたのでしょうか。私自身もその当時は、この仕事が一生のものになるとは思っていませんでした。昭和も終わり、平成も過ぎ、令和の時代になっても、障害者差別はまだなくなっていない。差別というのがこの世からなくなって、誰もが一人の人間として大切にされるようになることが神のみわざだとイエス様はおっしゃっているように思います。

見沼区 齊藤

※ 今月号より、当教会オルガニスト高野さんによる連載エッセイ「オルガニストのつぶやき」が始まりました。

オルガニストのつぶやき
～ いっしょに弾きませんか

コロナ禍、ミサで聖歌が歌えない、というのは、信者にとって寂しいことです。ですから、歌わなくても心の中に聖歌が響き、詩篇が思い浮かぶような曲をと、典礼暦、みことばから選曲して引くようにしています。

一番大事なことは、聖歌 32 番

「神に向かってよろこびうたい、感謝の歌をささげよう」

という気持ちです。

大宮教会でのオルガン奉仕 25 年を経て、さまざまな時を乗り越えてきましたが、転出その他で、現在オルガニストは 2 名と少なく、今後のことも考え養成していきたいのです。

オルガンを通して、神さまを讃え、喜びをもって奉仕して下さる方をお待ちしております。

教会音楽の基本的技術、その他アドバイスをさせていただきます。

お気持ちのある方、お気軽にお声がけください。

オルガニスト 高野 (岩槻区)



* 投稿を募集しております。FAX か郵送で受け付けております。

〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町 2 丁目 3 5 0 カトリック大宮教会
おおみや教会通信係 ☎048 - 641 - 2935 FAX048 - 641 - 2724